



# 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月8日

上場会社名 株式会社今仙電機製作所

上場取引所 東名

コード番号 7266 URL <http://www.imasen.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤掛 治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 大野 真澄

TEL 0568-67-1211

四半期報告書提出予定日 平成24年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	20,650	12.1	1,007	758.8	1,558	534.6	1,079	—
24年3月期第1四半期	18,428	△14.1	117	△94.0	245	△87.4	73	△93.0

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 1,595百万円 (467.8%) 24年3月期第1四半期 281百万円 (△67.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	61.26	55.25
24年3月期第1四半期	4.07	3.68

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	68,223	34,310	49.0	1,895.56
24年3月期	67,014	32,914	47.7	1,815.17

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 33,413百万円 24年3月期 31,996百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
25年3月期	—				
25年3月期(予想)		10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	44,100	23.4	2,100	167.1	2,200	174.6	1,300	461.2	73.75
通期	94,400	19.8	6,000	113.5	6,200	130.3	3,800	158.2	215.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 四半期連結財務諸表規則第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	18,172,737 株	24年3月期	18,172,737 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	545,380 株	24年3月期	545,306 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	17,627,357 株	24年3月期1Q	17,957,474 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(6) セグメント情報等 .....	9
(7) 重要な後発事象 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災の復興需要などにより緩やかな回復基調で推移いたしました。欧州債務問題の影響や長期化する円高、電力供給への懸念など先行きは依然不透明な状況が続いております。

自動車業界におきましては、タイの洪水による影響からの回復やエコカー減税などの効果により生産は徐々に回復してまいりました。

このような経営環境の中で当社グループは、前中期経営計画の課題を引き継ぎつつ、今後更なる成長路線に転換するため、今期より2020年までの新たな新長期経営ビジョン「Dream 2020」を策定し、2020年までの9年間で3つの中期計画展開フェーズに区分した中期経営計画を策定しスタートいたしました。今期をスタートとするフェーズ1におきましては、①研究開発の強化、②人材育成とグローバル活用、③グローバルでの事業拡大、④国内事業の再編、⑤非自動車領域の事業開発、⑥グローバルマネジメント確立という6つの展開方針を設定し、取組みを開始いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は20,650百万円（前年同期比12.1%増）、経常利益は1,558百万円（前年同期比534.6%増）、四半期純利益は1,079百万円（前年同期は73百万円の利益）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (a) 自動車部品関連事業

自動車部品関連事業につきましては、前年同期は東日本大震災の影響があったこと、また、タイの洪水による影響からの回復やエコカー減税により主要得意先の自動車生産が増加したことから、売上高は19,600百万円（前年同期比13.2%増）、営業利益は1,049百万円（前年同期は89百万円の利益）となりました。

#### (b) ワイヤハーネス関連事業

航空機関連向けの受注が厳しい状況が続いており、売上高は577百万円（前年同期比8.8%減）、営業損失は48百万円（前年同期は24百万円の利益）となりました。

#### (c) 福祉機器関連事業

電動車いすの売上が堅調に推移したことから、売上高は270百万円（前年同期比2.2%増）、営業利益は16百万円（前年同期比47.7%増）となりました。

#### (d) 自動車販売関連事業

当社グループにおける国内自動車販売は、エコカー減税の対象車種が少なく販売の苦戦が続いており、売上高は201百万円（前年同期比8.0%減）、営業損失は12百万円（前年同期は10百万円の損失）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (イ) 資産

当第1四半期末における総資産は、68,223百万円（前期末比1,208百万円の増加）となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金の増加（971百万円）などにより、39,590百万円（前期末比360百万円の増加）、固定資産は、有形固定資産の増加（1,301百万円）などにより、28,632百万円（前期末比847百万円の増加）となりました。

##### (ロ) 負債

当第1四半期末における負債は、33,913百万円（前期末比187百万円の減少）となりました。流動負債は、28,828百万円（前期末比8百万円の減少）、固定負債は、5,084百万円（前期末比178百万円の減少）となりました。

##### (ハ) 純資産

当第1四半期末における純資産は、四半期純利益（1,079百万円）などにより、34,310百万円（前期末比1,395百万円の増加）となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間において営業活動の結果増加した資金は、2,778百万円（前年同期比210.8%増）、投資活動に使用した資金は、2,302百万円（前年同期比157.6%増）、財務活動の結果増加した資金は、177百万円（前年同期は776百万円の減少）となりました。

この結果、当第1四半期末の現金及び現金同等物の残高は6,230百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、2,778百万円の増加となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益が1,609百万円、減価償却費が950百万円であったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,302百万円の減少となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出が2,393百万円であったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、177百万円の増加となりました。これは主として、短期借入金の増加額が748百万円、リース債務の返済による支出が311百万円、配当金の支払額が176百万円であったことによるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成24年5月10日に公表しました予想から変更はございません。

なお、これらは当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年 6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,711	6,560
受取手形及び売掛金	18,667	19,639
電子記録債権	4,906	3,360
たな卸資産	5,522	6,700
その他	4,441	3,332
貸倒引当金	△19	△2
流動資産合計	39,229	39,590
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,901	6,961
機械装置及び運搬具（純額）	5,691	6,099
その他（純額）	10,486	11,320
有形固定資産合計	23,079	24,381
無形固定資産		
その他	695	686
無形固定資産合計	695	686
投資その他の資産		
投資有価証券	3,603	3,190
その他	441	425
貸倒引当金	△35	△50
投資その他の資産合計	4,010	3,565
固定資産合計	27,784	28,632
資産合計	67,014	68,223
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,067	13,552
1年内償還予定の社債	3,010	3,010
短期借入金	4,253	5,017
未払法人税等	491	372
賞与引当金	1,182	487
その他	6,832	6,388
流動負債合計	28,837	28,828
固定負債		
社債	15	15
長期借入金	1,126	1,108
退職給付引当金	1,150	1,075
その他	2,971	2,885
固定負債合計	5,262	5,084
負債合計	34,100	33,913

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年 6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,548	4,548
資本剰余金	4,281	4,281
利益剰余金	24,639	25,542
自己株式	△438	△438
株主資本合計	33,030	33,934
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,106	897
為替換算調整勘定	△2,140	△1,417
その他の包括利益累計額合計	△1,033	△520
少数株主持分	917	896
純資産合計	32,914	34,310
負債純資産合計	67,014	68,223

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	18,428	20,650
売上原価	16,699	17,647
売上総利益	1,728	3,003
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	506	719
給料手当及び賞与	494	557
賞与引当金繰入額	62	62
退職給付費用	18	17
減価償却費	17	20
その他	511	618
販売費及び一般管理費合計	1,611	1,996
営業利益	117	1,007
営業外収益		
受取利息	13	17
受取配当金	17	20
為替差益	91	501
その他	50	64
営業外収益合計	173	603
営業外費用		
支払利息	35	46
その他	9	6
営業外費用合計	44	52
経常利益	245	1,558
特別利益		
固定資産売却益	0	0
受取保険金	—	146
特別利益合計	0	147
特別損失		
固定資産処分損	1	6
投資有価証券評価損	—	89
特別損失合計	1	96
税金等調整前四半期純利益	244	1,609
法人税、住民税及び事業税	150	210
法人税等調整額	△2	325
法人税等合計	147	536
少数株主損益調整前四半期純利益	96	1,072
少数株主利益又は少数株主損失(△)	23	△7
四半期純利益	73	1,079

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	96	1,072
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14	△214
為替換算調整勘定	198	737
その他の包括利益合計	184	523
四半期包括利益	281	1,595
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	254	1,593
少数株主に係る四半期包括利益	26	2

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	244	1,609
減価償却費	954	950
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△74	△74
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△676	△695
受取利息及び受取配当金	△31	△37
支払利息	35	46
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	89
固定資産処分損益 (△は益)	0	6
売上債権の増減額 (△は増加)	2,739	1,024
たな卸資産の増減額 (△は増加)	652	△936
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,167	△21
その他	△168	1,186
小計	1,509	3,147
利息及び配当金の受取額	30	35
利息の支払額	△37	△45
法人税等の支払額	△608	△358
営業活動によるキャッシュ・フロー	894	2,778
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	△63	59
有形固定資産の取得による支出	△834	△2,393
有形固定資産の売却による収入	7	18
投資有価証券の取得による支出	△4	△4
その他	1	17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△893	△2,302
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△103	748
長期借入金の返済による支出	△187	△59
リース債務の返済による支出	△261	△311
配当金の支払額	△197	△176
その他	△26	△23
財務活動によるキャッシュ・フロー	△776	177
現金及び現金同等物に係る換算差額	57	227
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△718	880
現金及び現金同等物の期首残高	9,496	5,350
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,778	6,230

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品関連 事業	ワイヤー ハーネス 関連事業	福祉機器 関連事業	自動車 販売関連 事業	合計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	17,310	633	264	219	18,428	—	18,428
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2	0	0	2	△2	—
計	17,310	635	265	219	18,430	△2	18,428
セグメント利益又は損失 (△)	89	24	11	△10	114	2	117

(注) 1. セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品関連 事業	ワイヤー ハーネス 関連事業	福祉機器 関連事業	自動車 販売関連 事業	合計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	19,600	577	270	201	20,650	—	20,650
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	0	0	0	△0	—
計	19,600	577	270	201	20,650	△0	20,650
セグメント利益又は損失 (△)	1,049	△48	16	△12	1,005	2	1,007

(注) 1. セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。